



しずがわ

令和5年度 第22号
令和6年 2月14日
文責 校長 吉田 浩規

授業参観・学級懇談会ありがとうございました

2月8日(木)、今年度最後の授業参観が行われました。この1年間に学んだことをみていただく子どもたちは、意欲的に学習に取り組んでいました。



1年A組:国語「これはなんでしょう」

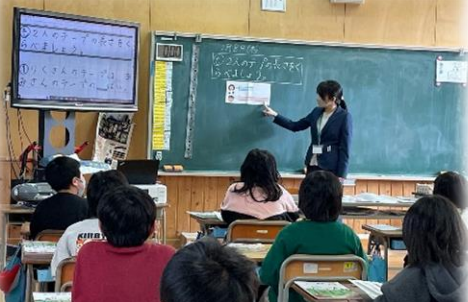


1年B組:算数「どちらが広い」



岩泉小学校 HP

授業の様子は、ホームページでもご覧頂けます。



2年A組:算数「分けた大きさの表し方を考えよう」



3年A組:国語「つたわることばでつたえよう」



4年A組,ひまわり:社会「都道府県クイズをつくろう」



5年A組:体育「バスケットボール」



6年A組:社会「日本とつながりの深い国々」

授業参観に併せて、今年度3回目の学校運営協議会も開催され、運営協議会委員の皆様、授業の様子をみていただいたほか、まなびフェスト達成状況や学校経営の成果と課題について話し合われました。まなびフェストの取組結果については、後日、お知らせいたします。

「岩小さくずの自己肯定感は、どのようになりましたか？」

自己肯定感に注目し、教職員や保護者の皆様がペップトークを心がけてきた結果、児童の自己肯定感はどう変わってきたのか、冬休み明けに実施した児童アンケート（自尊感情測定尺度）の調査結果をお伝えします。

【アンケート調査及び結果の見方について】

- 各項目とも「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」の選択肢の中から1つ選ぶ形式。積極肯定を4点とし、回答に応じて数値化したもの。
- (#) のついての問は反転項目（ネガティブに回答するほど高得点）
- 数値は対象児童の得点の平均得点（最高4点、最低1点）
 - ・3点以上を全体として良好と判断



自己肯定感アンケート集計結果（1～6年児童対象）

No	自己有用感に関する設問	R6.1	R5.5	比較
2	人の意見を素直に聞くことができる	3.36	3.43	-0.07
5	私は人のために力を尽くしたい	3.48	3.57	-0.08
8	私はほかの人の気持ちになることができる	3.02	3.09	-0.07
11	私には自分のことを理解してくれる人がある	3.40	3.41	0.00
14	人に迷惑がかからないよう、いったん決めたことには責任を持って取り組む	3.35	3.30	0.04
17	自分のことを見守ってくれている周りの人々に感謝している	3.74	3.71	0.03
20	私には自分のことを必要としてくれる人がある	3.12	3.28	-0.16
	観点別平均	3.35	3.40	-0.05
No	自己信頼感・自己決定感に関する設問	R6.1	R5.5	比較
3	人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる	2.98	2.91	0.07
6	自分の中には様々な可能性がある	3.19	3.17	0.02
9	私は自分の判断や行動を信じていることができる	3.19	2.99	0.19
12	私は自分の長所も短所もよくわかっている	3.29	3.35	-0.05
15	私には誰にも負けないもの（こと）がある	3.03	2.96	0.07
18	私は自分のことは自分で決めたいと思う	3.39	3.40	0.00
21	私は自分の個性を大事にしたい	3.51	3.34	0.17
	観点別平均	3.23	3.16	0.07
No	自尊感情・自己受容感・自己効力感に関する設問	R6.1	R5.5	比較
1	私は今の自分に満足している	3.13	2.91	0.22
4	私は自分のことが好きである	2.96	2.83	0.13
7	自分はダメな人間だと思うことがある(#)	2.45	2.55	-0.09
10	私は自分という存在を大切に思える	3.43	3.28	0.15
13	私は今の自分は嫌いだ(#)	2.78	2.81	-0.02
16	自分には良いところがある	3.22	3.12	0.10
19	自分は誰の役にも立っていないと思う(#)	2.70	2.66	0.04
22	私は人と同じくらい価値のある人間である	3.28	3.34	-0.06
	観点別平均	2.99	2.94	0.06

●自己有用感に関する設問については、大きな変容は見られませんが、前回同様比較的高い状況にあります。

●自己信頼、自己決定に関する設問については、ほとんどの項目で前回の値を上回り、7項目中、6項目で3点を超えました。

●自尊感情・自己受容感・自己信頼感に関する設問については、多くの項目で前回より上昇がみられましたが、引き続き、半数の項目で3点を下回っています。

【結果について】

本調査は、学校として独自に行ったものであり、他校との比較はできませんが、自己肯定感を支える要素のうち、自尊感情・自己受容感など、主に自分自身による評価において改善の傾向が見られますが、依然として低評価となっています。充実感や達成感を大切に、一人一人が自らの成長を実感できるような指導・支援を引き続き大切にしていきます。